

水道事業の決算状況

炊事や洗濯、入浴など私たちの生活には水は欠かせません。市は、安全で良質な水道水を安定的に供給するため、市民のみなさんからいただく水道料金を主な財源として、水道施設の整備や維持管理などを毎年度、実施しています。今後は、一般会計や特別会計と同じく、監査委員や議会の決算審査特別委員会で、さまざまな角度から審査されることとなります。今月号では、平成15年度水道事業会計の決算状況をお知らせします。

水道事業会計の概要

水道事業会計は、性質別に『収益的収支』と『資本的収支』の2つに分類されています。

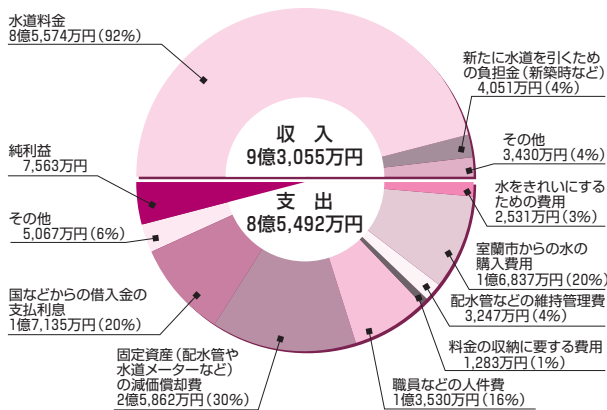
収益的収支はみなさんからいただく水道料金などで、施設の維持管理や修繕、国から借りたお金の支払利息などの費用を賄う収支をいい、資本的収支は国からの借入金などで、配水池の建設や配水管の整備、国から借りたお金の元金償還などの投資的費用を賄う収支をいいます。

一般的に1事業年度の営業成績を示す『損益（黒字または赤字）』は収益的収支で表します。



収入と支出の状況

収益的収支グラフ



収益的収支

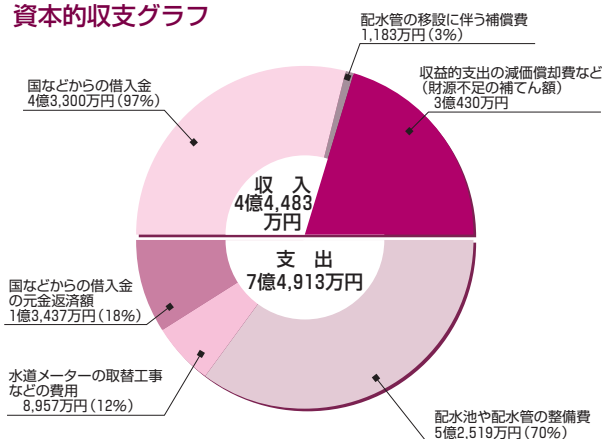
収入合計は、予算の9億3,294万円に対し決算は9億3,055万円で239万円の減となりました。この原因は、水の使用量が減少した影響によるものです。

一方、支出合計は、予算の9億2,439万円に対し決算は8億5,492万円で6,947万円の減となりました。この原因は、受水費(室蘭市からの水の購入費)や人件費などが減少した影響によるものです。

収支決算は、予算の855万円に対し7,563万円の黒字となりました。

また、この黒字額については、国などからの借入金の元金償還に充てるための減価積立金に1,563万円を配水管の更新などの施設整備に充てるための建設改良積立金に6,000万円を積み立てる予定です。

資本的収支グラフ



資本的収支

収入合計は、予算の4億4,200万円に対し決算は4億4,483万円で283万円の増となりました。この原因は、配水管移設に伴う補償額の増加によるものです。

一方、支出合計は、予算の7億8,505万円に対し決算は7億4,913万円で3,592万円の減となりました。この原因は、当初予定していた配水管更新などの工事が減少した影響によるものです。

収支決算は、予算の3億4,305万円に対し3億430万円の財源不足となりました。

また、この不足額については、収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用の減価償却費など(損益勘定留保資金)で補てんしました。